

リーブラ便り

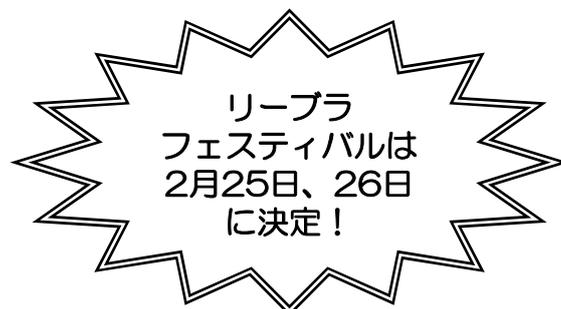
2011年9月号 VOL. 28



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. リーブラフェスティバル2012
 2. 講座案内
 3. 助成事業について
 4. 講座報告
 5. 運営協議会
 6. リーブラ相談室
 7. 男女平等参画情報
- ★別紙 9月の新着図書ご紹介



1. リーブラフェスティバル2012

●リーブラフェスティバル2012の実行委員会が8月からスタート!

毎年恒例のフェスティバルの準備がはじまりました。今年は8月から実行委員会が立ち上がりフェスティバルをよりよいものにしようと、10名の熱意ある実行委員の皆さんが、知恵をしぼって議論しています。

今年は言葉としてテーマは設定しませんが「お互いが助け合ってつながって行くフェスティバルにしたい」という方針を共有し、コラボレーション企画、広報委員の新設など、より多くの皆さんにフェスティバルにご参加いただけるよう、取り組みを始めています!



委員会では様々な意見が出されます。

●9月10日(土) 10:00~12:00 全体会及び第1回部会が開催されました。

全体会では展示19団体、料理3団体、ホール13団体が参加しました。

～館長挨拶～

リーブラフェスティバルは2012年2月25日(土)、26(日)に行います。例年より一週間遅れですが、これは港区のイベントとの重りに考慮したためです。昨年は30周年を記念しましたが、その後大震災もあり、私たちの価値観も変わりました。しかしリーブラへの情熱は変わっていません。

フェスティバルは参加される皆さんの手で企画運営していただき、条件の許す範囲でできるだけ皆さんのご希望・ご意見を反映するため、自主的運営の実行委員会が立ち上がり、10名の立候補がありました。みなさんの代表として所属団体の枠を超えて準備をしていただいております。8月10日に実行委員会を開き、実行委員長・各部長などの役員が決まっています。参加団体は、展示部会：39団体、ホール部会：20団体、料理部会：5団体となっています。団体間の交流のため、コラボレーション企画をつくるという事も聞いています。参加団体が増えたことで、調整もありますが、皆様のご理解・ご協力をいただきたいと思ひます。



全体会の様子

実行委員の皆さんからの提案で、今年の全体会では、これまで部会ごとに行ってきた団体紹介を、参加団体全体で行いました。また部会で話し合われた内容を全体で共有する時間をとりました。今年のテーマである「つながり」を意識し、部会・団体を越えて、相互理解を深めようと、委員の皆さんが様々な工夫を凝らし案を出して、一つ一つ実行に移して下さっています。フェスティバルを機会に心を一つにして、楽しく、皆さんで盛り上げていきましょう。

2. 講座案内

リーブラ主催講座
「著者が語る話題の本」講座
飯野由里子さんが語る
『レズビアンである
くわしたち』のストーリー』

- 日時：10月28日（金）
19:00～21:00
- 会場：リーブラ4階集会室3
- 講師：飯野由里子さん
（東京大学助教）
- 内容：これまでの女性学・ジェンダー研究、セクシュアリティ研究ではほとんど取り上げてこられなかった女性同性愛者たちの思いや活動について、著者から話していただきます。
- 参加費：無料
- 対象：どなたでも
- 申込：電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約（1歳から未就学児まで）
保育申込締切：10月14日（金）
- 手話・文字通訳：10月7日（金）までにご相談ください。

学習活動支援事業 生き方講座
【あなたにもきっとくる
お一人様の住まい方】

- 主催：NPO法人
男女平等参画推進みなと
- 日時：10月29日（土）
13:30～15:30
- 会場：リーブラ4階 集会室
- 講師：樋口恵子さん（NPO法人高齢社会をよくする女性の会代表）
- 内容：「お一人様」は独身でも、結婚していても高齢者でも自立し一人で行動できる前向きな人のこととして注目されています。「お一人様」の生き方を現役時代から、具体的にイメージしておくにはどうしたらいいか、その術を話し合ってみませんか。
- 参加費：500円
- 定員：50名（当日参加歓迎）
- 保育：あり（1歳から未就学児まで）
無料：要予約
※申込10月22日（土）まで
- 申込み・問合せ先 NPO法人男女平等参画推進みなと（GEM）
電話：080-3512-3710
e-mail：gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

学習活動支援事業 展示とお話会
「豊田直巳写真展とお話会くイラク戦争と劣化ウラン—今も続く被害者の苦しみ—」

- 主催：劣化ウラン廃絶みなとネットワーク
- （展示）
- 日時：10月16日（日）～10月30日（日）
9時～21時（最終日は15時まで）
- 会場：リーブラ3階廊下
- （お話会）：豊田直巳氏
「ファインダーから見える子どもたちの今—イラク・チェルノブイリ・フクシマを結ぶ線—」
- 講師紹介：紛争国や災害被災地で写真を撮り、人権意識から問題提起し続け、3・11直後の福島に行き、写真誌や新聞に発表している。
- 日時：10月22日（土）13時30分～
- 会場：学習室E
- 問合せ先 電話：03-3455-8640 宮口高枝（劣化ウラン廃絶みなとネットワーク）

リーブラ主催講座
「デートDV防止教育を学ぶ
—尊重し合う関係づくりとは—」

- 日時：10月18日（火）
13:30～15:30
- 会場：リーブラ4階 集会室3
- 講師：山口のり子さん（アウェア代表）
- 参加費：無料
- 対象：学校・教育関係者、10代・20代対象の相談に関わる方、地域でデートDV防止教育を実践している方、または防止教育に関心のある方、保護者等。
- 定員：40名（先着順）
- 申込：電話・FAX・メール・窓口



10代、20代の若いカップルの間で起こるデートDV（ドメスティック・バイオレンス）は、問題が深刻になる前に、若者に対するDVの正しい知識の提供と周囲の適切な対応が必要です。

このたびリーブラでは、長年デートDV防止教育に取り組んでこられた、アウェア代表の山口のり子さんに、防止教育の具体的な方法と問題が起こったときの周囲の適切な対応を、その豊富なご経験からお話しいただきます。

また、当日は、リーブラが実施する「区内学校対象・デートDV防止教育無料講座」についてのご案内もします。

第2回リーブラ特別展示
女性に対する暴力をなくすためわたしたちができること
～災害・女性・人権リーブラからのメッセージ～
●展示作品募集

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。東日本大震災以降、様々な問題に私たちは直面しています。そのような中、女性、子どもなど社会的弱者に更に負担がかかるを感じざるを得ません。みんなが生きやすい社会へ向かって、何が必要なのかを共に考え、つながり、行動しましょう。活動紹介や展示作品に思いを込めて、共にメッセージを発信し、思いを共有しましょう。

- 参加申込書締切：10月28日（金）
- 作品提出締切：11月4日（金）
- 展示期間：11月12日（土）～25日（金）
最終日16時まで（予定）
- 会場：リーブラ 3F 学習室E
- ふらっとリーブラ11月 話そう！つながろう
- 日時：11月18日（金）13時～15時 予約不要
- 会場：リーブラ学習室E
- 保育：要申込 保育申込締切11月4日（金）

展示について、東日本大震災後の今について、女性に対する暴力についてなど思っていること、考えていること、参加者の皆さん・リーブラコーディネーターとお話してみませんか。

- みんなでつくろう！パープルリボン
 - 日時：10月21日（金）～11月25日（金）予定
 - 会場：リーブラ 3F 交流コーナー
- パープルリボンをみんなでつくろう！
紫色の紙を折ったり、メッセージを書いたりして、大きなパープルリボンを作りましょう。



3. 助成事業について

平成24年度「活動助成事業」 「団体育成事業」募集について

昨年度まで、男女平等参画社会の視点に基づいて活動を行う団体や個人の育成の目的で実施しておりました【学習活動支援事業】【パワーアップ事業】について、24年度実施分より、その実施目的をより具体化し、かつ事業実施者の状況にあわせた適切な支援が行えるよう各々【活動助成事業】【団体育成事業】と改め、現在実施事業の募集をしています。

詳しい実施基準・要領、申請書はリーブラ3階窓口、港区人権男女平等参画担当窓口で配布しています。リーブラホームページからもダウンロードできます。

(<http://www.minatolibra.jp/>)

応募希望の方は、申請書に必要事項をご記入の上、平成23年10月28日(金)までに、リーブラへお申し込みください。



4. 講座報告

ふらっとリーブラ

8月こども映画の巻

参加人数 女性19名 男性3名
計22名(大人8名 子ども14名)
リーブラでは30代~40代の子育て世代の支援も課題の一つとしていますが、今回の講座では参加しやすい映画の企画でお子さんに来ていただくことができました。会場前方にブルーシートを敷いたことで、お子さんたちが自由に観覧する姿が見られました。アンケートでも「夏休みの子ども向けの内容、うれしいです」など、子ども向け企画を歓迎する声がありました。

映画の前後では、リーブラの「性別にとらわれず自分らしくいきいき」という理念の説明や、リーブラ図書資料室、子ども向け図書の紹介などをし、気軽に利用できる施設であることを発信しました。

上映した映画は、主人公の女の子フローネが無人島で生き延びる話であり、「小さな子どもでもあきずに集中して見ていました。題材もとてもよかったです」という声もありました。

たまち保育室&リーブラ協働講座 個性生き生き

~ジェンダー基礎講座~

9月9日、たまち保育室の保育士や職員の皆さん25名が参加して、首記講座が実施されました。

参加者は女性21人、男性4人。金曜日の仕事終了後の時間にも関わらず、皆さん時折メモを取るなど関心の高さが伺えました。

約9割の参加者が研修内容を理解できたと回答。ジェンダーの基礎的知識を導入した後、グループワークで絵本に現れるジェンダーを話し合ったことがより理解を深めました。

現実には働く母親を持つ子どもたちが触れる絵本では母親は専業主婦というギャップに改めて気づいたり、子どもたちへの声かけを変える事の重要性に気づく等「講座で学んだこと~性別による区別ではなくそれぞれの個性を伸ばすこと~を保育の現場で生かしたい」という趣旨の

コメントが多く見られました。



学びを仕事に 社会活動に!

夏の1DAYインターンシップ 2011報告

参加人数 女性12名 男性3名
計15名(就業前の学生対象)
9:00~17:00の間に、5つの講義、2つのワークショップを盛り込んだ内容の濃い1DAYインターンシップでした。

<男女平等意識の啓発>

実際にリーブラで働く職員、また港区職員、団体メンバーの方々と交流することで、1日のプログラムを通してリーブラの事業について知り、学生が男女平等の活動、実践に関心を持つきっかけを提供できました。

これからの生き方、働き方についての人生の選択を迫られる時期に「男女平等」の意識啓発をすることができました。アンケートにおいても「いろいろな意見を聞くことができよかった」「今すぐには変えられなくても、変えていこうという意識を持ち続け、長い目で世の中を変えられたらいいなと思いました」などがありました。

<学生のエンパワーメント>

インターンシップのプログラムを通して、一人ひとりの抱える悩みが、個人に起因するものでなく、それを生み出した社会構造に目を向けるという視点を共有することで、参加者をエンパワーする効果がありました。

「男女平等に関心があって、だけどどう実践していけばいいのかと悩み、でも静かに使命感を燃やしている人が多かったように思います」「同じような関心を持っている方々と考えることができ、とても嬉しくうきうきわくわくしています。現状と向き合って、実践していく中で学習を続けていきたいと思っています」など熱心な感想が寄せられました。

インターンシップアルバム



学生同士の出会いも貴重な経験でした



現場の職員の話をお聞きします



ワークショップの様子
参加者同士活発に交流できました

<次世代の育成>

若い世代の育成はリーブラの課題の一つです。今回のインターンシップの参加者のリーブラ事業への関心は高く、アフターミーティングをする動きがあります。学生のアイデアを事業に活かすなど、今後もリーブラ事業に若い力を活かす取り組みの一例となることでしょう。

反省点としては 個々の講座の時間が限られており、十分なやり取りができなかったことがありました。アンケートでも「もっと他の参加者の方、職員の皆様とお話できる時間がほしかったと感じています」等ありました。1回の講座参加だけで終わるのではなく、次につなげる働きかけを行っていきたいと思います。

5. 運営協議会

運営協議会委員より

～新鮮な感動を成長の糧に～
私はリーブラ開催のフェスティバルやフォーラムに参加しているが、毎年新鮮な感動を覚える。それは関わる人全てが真剣に取り組んでおり、区民・区・リーブラの熱意が新しく参加して来る人へ伝達されていくからである。関わる人々の成長がリーブラを支え、新しく参加して来る人々も成長していく切磋琢磨は実に見事である。

フェスティバルなどは長い間の実績があるので、配慮が行き届いているようにも感じている。

2011年のフォーラムの主講演講師の著書「積極的その日暮らし」を読んでいるが、こんなに面白くて人生の指針となる躍動している文章に出会えたのも、リーブラに関わってきたお蔭である。

委員としては2年目であるが、30年間参加し続けられたことにも感謝している。これからも参加していく意欲を漲らせていきたい。

運営協議会委員 山岸美津子

平成23年度 第5回運営協議会

8月29日、運営協議会が開催されました。

【議題】

- (1) 報告事項
① 24年度以降の指定管理について(事業計画含む)
② 8月の事業報告
③ フェスティバル2012進捗状況
④ フォーラム2012について
- (2) 協議事項

- ① 新リーブラに向けての検討スケジュール(和室について)

(3) その他

2月のフェスティバルに向けて8月より実行委員会が立ち上がりました。9月には来年度のフォーラムの企画運営委員の募集を開始します。リーブラでは大きなイベントを、区民参画による実行委員会形式で実施しているため、役員の方には、年間をとおしてリーブラ事業に関わっていただいています。イベント運営や参加をとおして団体や個人間の相互理解を深め、より多くの方がつながっている場を創っていきたいと思います。

6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

リーブラでは、10月18日、交際相手との間で起こるドメスティック・バイオレンス「デートDV」の講座を開催します。平成20年度内閣府の調査では、10代、20代のとき交際相手からDV被害を受けたことが「あった」と、女性13.6%、男性4.3%が回答しています。しかし、被害にあった人の34.4%が「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えており、問題が深刻になってはじめて周囲の人が気づくケースが多いのが現状です。心のサポートルームは、交際相手からのDVなど、さまざまなご相談にご利用できます。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください。

<開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00～20:00
水曜日 10:00～16:00
金曜日 10:00～16:00
金曜日 18:00～21:00

03-3456-5771 (専用電話)

※面談は事前にご予約ください。
電話相談も可能です。ご相談もご予約も、上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

7. 男女平等参画情報 ～災害と女性—あれから半年—

今月11日は「アメリカ同時多発テロ事件」から10年、東日本大震災から半年が経ち、テレビや新聞でもさまざまな特集が組まれていました。リーブラ便り4月号でもお伝えしたとおり、今回の震災に対しては内閣府男女共同参画局や女性団体等により、阪神大震災や中越地震、さらに国外での災害の経験を踏まえ、早くから女性の視点・ニーズを反映した取り組みが行われてきました。政府による取り組みの具体例としては、女性警察官の避難所訪問、女性の相談窓口の設置、避難所におけるプライバシーの確保への提言、女性の雇用支援、妊産婦のニーズへの対応などが挙げられます。

6月の「災害・復興と男女共同参画」6.11 シンポでは、性別役割の固定化、政策決定過程における女性の参画の少なさ、復興基金をはじめとした支援が柔軟でないことなどが、これまでの国内外の災害復興におけるジェンダー課題として指摘されました。こうした問題提起を踏まえ、東日本大震災復興対策本部による「東日本大震災からの復興の基本方針」(7月29日決定、8月11日改定)の基本的考えにおいては、「男女共同参画の観点から、復興のあらゆる場・組織に、女性の参画を促進する」とされています。実際には、女性や子どもに対する暴力などさまざまな問題が被災地で起き、また「復興」の見通しの立たない地域からの避難者の存在など、こうした方針がどのように実現されるべきか、多様な被害に対しどのような支援が必要であるかなどについて、今後ともに考え、協力していく必要があるでしょう。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日: 2011年9月20日